

JAグループ広島 営農通信

2021年
秋号

全農提供ラジオ番組のご紹介

あぐりずむ ニッポン **いただきます紀行**

<https://www.tfm.co.jp/itadakimasu/>

- 放送日：毎週木曜日 6:15～6:25 (広島FM)
- パーソナリティ：川瀬良子さん



農業部

<https://www.tfm.co.jp/lock/nohgyou/>

- 放送日：毎週木曜日 23:00～23:06 (広島FM)
- パーソナリティ：的場華鈴さん
大和明桜さん

全農 ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN

<https://www.tfm.co.jp/cdj/>

- 放送日：毎週土曜日 13:00～13:55生放送 (広島FM)
- パーソナリティ：ジョージ・ウィリアムズさん
安田レイさん

～全国FM38局で放送中～

 JAグループ広島

JA全農ひろしまホームページ



<https://www.jazhr.jp>

 JA全農ひろしま



▲全農チャレンジファーム広島・北広島農場開所式での植栽イベントの様子

◆米穀情報

- ①米の需給動向
- ②米の消費拡大に向けた全農の取り組み

◆園芸情報

- ①生産振興の取り組み
- ②青果物の販売経過および情勢

◆TOPICS

- 「3-R」ブランドの普及に向けた取り組み

◆営農支援情報

- ①〈イベント告知〉令和3年度JAグループ担い手アグリサミット
- ②全農チャレンジファーム広島・北広島農場の開設
- ③JA全農ひろしま営農公式LINEの開設

◆肥料・農薬情報

- 水稻の収量・品質向上対策!稲刈後の対策

◆農業機械情報

- ①共同購入トラクタ(中型)の購入生産者にインタビュー～第2段～
- ②見直そう!農業機械作業の安全対策

米穀情報

① 米の需給動向

農林水産省は令和3年7月の食糧部会で主食用米等の需給実績及び需給見通しを公表しました。これによると、令和2年/3年の需要実績は704万トンで昨年から約10万トン減少し、令和3年6月末民間在庫は219万トンで昨年から約19万トン増加しました。また、令和3年/4年の需要見通しは703万トン、令和4年6月末民間在庫は210万トンとなりました。

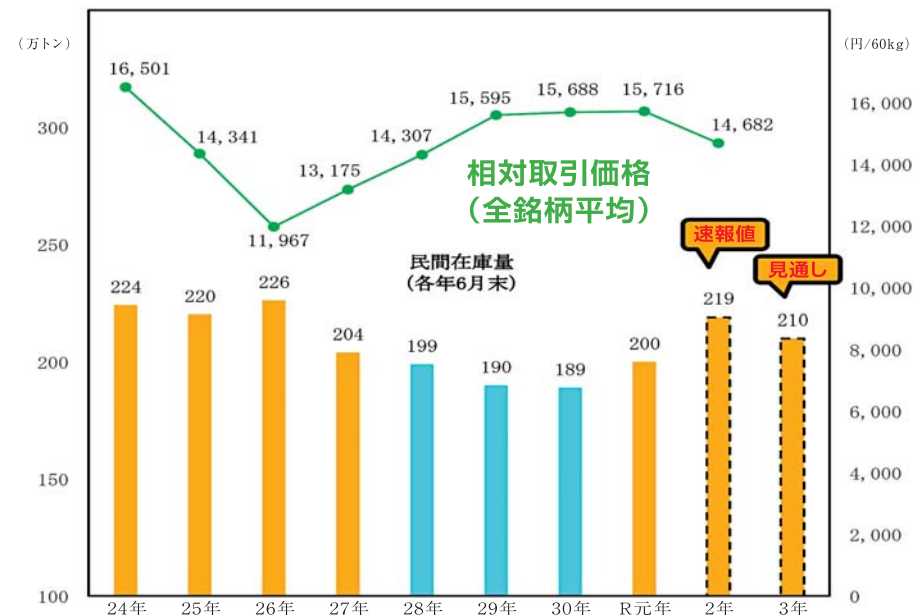
【主食用米等の需給実績(速報値)・見通し(農林水産省の資料を基に全農で作成)】

国の需給見通し(7/29食糧部会)			
令和2/3年	令和2年6月末民間在庫量	A	200
	令和2年産主食用米等生産量	B	723
	令和2/3年主食用米等供給量計	C=A+B	922
	令和2/3年主食用米等需要量	D	704
令和3/4年	令和3年6月末民間在庫量	E=C-D	219
	令和3年産主食用米等生産量	F	693
	令和3/4年主食用米等供給量計	G=E+F	912
	令和3/4年主食用米等需要量	H	703
	令和4年6月末民間在庫量	I=G-H	210

(注1) 四捨五入の関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

民間在庫量の増減と米価の変動には、高い相関関係があります。近年の在庫量増加等により令和2年産米の販売価格は下落を続けており、今後の需給見通しから令和3年産米についても価格の下落が懸念されています。

【米の民間在庫と価格の関係(農林水産省の資料を基に全農で作成)】



また、令和3年産主食用米等の生産量は令和3年6月末時点で平年作の場合694~696万トンと見込まれており、令和3年産では全国的に飼料用米等への転換が進み当初の国の基本指針(令和3年産生産量693万トン)に近い水準となっていますが、令和3年産の作柄や長期化するコロナ禍の影響を踏まえた需要動向等、不確定要素も多く今後の需給状況が国の見通し以上に悪化することも懸念されています。

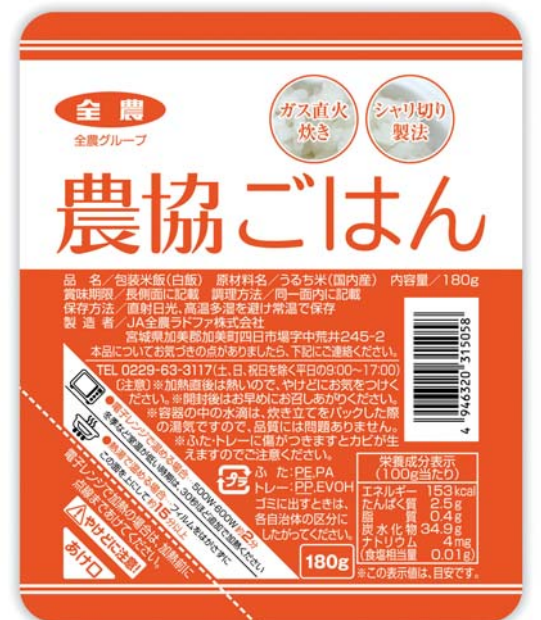
② 米の消費拡大に向けた全農の取り組み

全国の主食用米の需要量は一貫して減少傾向にあるなか、個食や食の簡便化ニーズが高まるなど消費者ニーズは多様化しています、更に近年では新型コロナウイルス感染症拡大の影響も重なり、想定以上に需要が減少しているうえ、内食への回帰といった消費行動の急速な変化が進んでいます。こうしたなか、全農ではJAグループとして集荷した米に付加価値をつけ、通年販売できる「パックごはん」の製造・販売に力を入れています。

令和3年4月から全農のグループ会社となったJA全農ラドファ株式会社(宮城県)は、「ガス直火炊き」、「シャリ切り」といった米のおいしさを最大限に引き出す独自製法で27年間、パックごはんを製造・販売しています。来年には新工場を稼働して生産能力を拡大し、国産米のさらなる販売拡大を目指します。

今夏には牛乳や卵を展開する「農協シリーズ」で、「農協ごはん」の発売を開始しました。7月29日からJAタウンで先行販売し、以降、東北・関東エリアを中心に一部小売店舗で販売を開始します。小売店舗では、農協シリーズの「農協たまご」や「農協牛乳」との共同陳列など、新たな売り場作りも提案していきます。

また、JA全農ひろしまにおいても、食の多様化への対応による「ひろしま米の消費拡大」を目的に、全農グループ間やパートナー企業と連携し「パックごはん」「米加工品」等の商品開発・販売拡大を進めます。



●もち麦パックごはん



●ひろしまライスバーガー



●ひろしまお米アイス

〈お問合せ先〉米穀総合課／塚本：TEL.082-431-5450
米穀販売課／山口：TEL.082-431-3000

園芸情報

① 生産振興の取り組み

■ 県域でのえだまめ生産振興について

JAグループ広島は、米との複合経営ならびに白ねぎとの輪作（連作障害回避）が可能な品目として「えだまめ」の生産振興を進めています。えだまめは、播種から選別まで一貫した機械化体系を組むことが可能な品目です。JA全農ひろしまが運営する北部地域アスパラ選果場では、今夏より機械によるえだまめの選果・選別・袋詰め作業を開始し、生産者の省力化をすすめています。

令和3年8月5日、6日には、JA広島北部およびJA三次管内の圃場でえだまめの機械収穫が行われ、北部地域アスパラ選果場に持込まれました。収穫作業は、労力軽減を図るため、今夏発売開始された「クボタえだまめコンバイン」により効率的に行われました。

JA全農ひろしまは生産者、JAおよび関係機関と連携し、北部地域アスパラ選果場を拠点とした県域でのえだまめの生産振興を図ります。



【JA三次管内圃場での収穫の様子】



【北部地域アスパラ選果場での選果の様子】

■ 「パイプハウス建て方講習会」の開催について

全農ひろしまでは、施設園芸に取り組む生産者にとって大きな負担となっているハウス設置にかかるコスト低減策として「全農ひろしま型ハウス」を推進しています。通常は施工まで行うパイプハウスの設置について、部材のみ供給し、設置は購入者が行うことで費用を抑える狙いです。

つきましては、パイプハウスの建て方に関する基本的な知識・技術習得を目的とした「パイプハウス建て方講習会」を開催しますので、ぜひご参加ください。

【日時】令和3年12月3日（金）9:00～17:00 予定 【場所】JA西日本営農技術センター（東広島市河内町入野）



② 青果物の販売経過および情勢

◆ 青果物 令和3年6月～8月までの販売経過

※金額は全て税抜

2021年（令和3年）6月から7月にかけての天候は、西日本では高気圧に覆われて晴れた日が多く、降水量は少なく推移しました。

しかしながら、8月中旬を中心に本州付近に停滞した前線の大雨の影響で、東日本太平洋側と西日本の夏の降水量はかなり多くなりました。

そのような中、JA全農ひろしまの青果物の取り扱い（令和3年8月末累計）のうち、卸売市場仕向けについては、7月までは天候に恵まれたため出荷量が多く、単価は低調に推移していましたが、8月中旬の大雨の影響により出荷量が大幅に減少したこともあって、8月下旬は全体的に高単価で推移しました。8月末累計では、出荷重量は6,466t（前年比105%）と前年を上回ったものの、単価は296円/kg（同87%）で前年を大きく下回り、販売金額1,918百万円（同91%）で推移しています。

■ JA全農ひろしまの販売状況（令和3年4月～令和3年8月累計）

	数量		金額		単価	
	（t）	前年比	（千円）	前年比	（円/kg）	前年比
野菜合計	6,466	105%	1,917,688	91%	296	87%
トマト	1,774	101%	482,870	90%	272	90%
青ねぎ	795	103%	370,203	86%	466	84%
アスパラガス	227	100%	271,818	104%	1,197	103%
ほうれんそう	312	112%	153,730	105%	492	94%
小松菜	546	93%	115,995	73%	212	78%
きゅうり	485	110%	110,682	101%	228	92%
ミニとまと	81	87%	46,863	88%	577	100%
だいこん	534	97%	42,468	82%	79	85%
キャベツ	648	116%	40,306	97%	62	84%
わけぎ	60	109%	40,086	98%	668	91%
ばれいしょ	291	173%	38,064	70%	130	40%
豌豆	33	85%	34,948	100%	1,060	120%
なす	121	103%	28,563	73%	236	71%
その他葉茎菜類	88	122%	26,436	102%	298	83%
青梗菜	80	79%	24,360	77%	303	97%
ジャンボピーマン	84	99%	20,869	70%	249	71%
その他	306	109%	69,426	95%	227	87%

※JA全農ひろしまの主要品目別市場出荷実績

〈お問合せ先〉園芸課／^{かん}神田：TEL.082-846-4708

◆8月単月の概況

【数 量】

- 8月単月の出荷量は前年と比較して62トン増加し、前年比104%で推移しました。トマト、青ねぎ、ばれいしょ等の数量が増加したことが主な要因です。
- 一方で、ミニとまと(80%)、なす(76%)、小松菜(72%)等は、前年の8月単月を下回る出荷量でした。
- ※()は前年比。
- 8月上旬までは天候に恵まれて出荷量が多かったものの、8月中旬の曇天および大雨の影響により、8月下旬にかけて出荷量は大幅に減少しました。また、今後は病害虫による品質の低下が懸念されます。

【金額・単価】

- 8月単月の単価については、わけぎで前年を大きく上回った(143%)ものの、その他の野菜では前年を大きく下回り、全体の平均単価は282円/kg、前年対比では77%で推移しました。
- 8月単月の販売金額は、単価安の影響によって436百万円(前年比81%)で終了しました。
- 8月上旬は出荷量が多かったもののスーパー等の小売の販売が鈍く、外食産業においては緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用により引き続き低調に推移したため、単価が安く推移しました。
- 8月下旬は、野菜全般で出荷量が大幅に減り、単価が大幅に高く推移しました。

◆9月の見通し

(1) 入荷量の見通し

- 9月の指定野菜(15品目)の入荷量は、平年を下回る水準と見込まれます。
- 「平年を上回る」と見込まれるのは、白ねぎ、レタス、ばれいしょの3品目です。
- 「平年を下回る」と見込まれるのは、だいこん、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、青ねぎ、きゅうり、なす、ピーマン、さといも、たまねぎの10品目です。
- 「平年並み」と見込まれるのは、にんじん、トマトの2品目です。

(2) 卸売価格の見通し

- 9月の指定野菜(15品目)の卸売価格は、平年を下回る水準と見込まれます。
- 「平年を上回る」と見込まれるのは、ほうれんそう、きゅうり、なすの3品目です。
- 「平年を下回る」と見込まれるのは、だいこん、にんじん、はくさい、キャベツ、レタス、トマト、さといも、たまねぎの8品目です。
- 「平年並み」と見込まれるのは、青ねぎ、白ねぎ、ピーマン、ばれいしょの4品目です。

○品目別の入荷量・卸売価格の見通し(9月)

品 目	入 荷 量			卸 売 価 格			(参考)前年9月の主産地シェア(%)
	前月比較	前年比較	平年比較	前月比較	前年比較	平年比較	
だいこん	↗	=	↘	↗	↘	↘	北海道(70)、広島(14)、青森(11)、山口(3)
にんじん	↗	=	=	=	=	↘	北海道(99)
はくさい	↗	↘	↘	↘	↘	↘	長野(91)、北海道(5)
キャベツ	↗	=	↘	↘	↘	↘	群馬(65)、長野(27)、熊本(2)
ほうれんそう	↘	↘	↘	↗	=	↗	広島(90)、群馬(4)、長野(3)
青ねぎ	=	=	↘	↗	↘	=	広島(47)、北海道(23)、大分(10)、鳥取(9)、愛媛(3)
白ねぎ	↗	=	↗	↗	↘	=	鳥取(53)、北海道(15)、海外(14)、長野(11)、広島(5)
レタス	↗	=	↗	↘	=	↘	長野(90)、群馬(5)
きゅうり	↘	=	↘	↗	=	↗	宮崎(25)、熊本(21)、佐賀(20)、広島(10)、大分(6)
なす	↘	↘	↘	↗	↗	↗	広島(32)、福岡(14)、徳島(13)、大分(12)、佐賀(11)
トマト(ミニトマトを除く)	↘	=	=	↗	↘	↘	広島(48)、北海道(14)、熊本(12)、島根(11)、鳥取(8)
ピーマン	↘	↗	↘	↗	↘	=	大分(55)、広島(10)、海外(9)、熊本(7)、宮崎(7)
ばれいしょ	↗	=	↗	↘	=	=	北海道(99)
さといも	↗	=	↘	↘	↘	↘	愛媛(65)、宮崎(32)、海外(2)
たまねぎ	↗	=	↘	↘	=	↘	北海道(98)、海外(1)
計	↗	=	↘	↘	↘	↘	

注1:「平年」とは、過去5か年の平均値。
注2:この資料の内容は、令和3年8月26日現在で見込んだものであり、今後の気象条件の変化等により変動があり得る。
注3:主要野菜の入荷及び卸売価格の見通しのコメント及びグラフは令和3年8月31日中国四国農政局生産部園芸特産課の発表内容による。

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の入荷量の推移

品 目	6月上旬		6月中旬		6月下旬		7月上旬		7月中旬		7月下旬		8月上旬		8月中旬	
	入荷量		入荷量		入荷量		入荷量		入荷量		入荷量		入荷量		入荷量	
	平年比		平年比		平年比		平年比		平年比		平年比		平年比		平年比	
だいこん	183	71%	221	95%	237	84%	295	100%	253	95%	254	93%	233	89%	200	91%
にんじん	210	96%	228	101%	179	90%	175	113%	133	93%	154	92%	167	93%	132	97%
はくさい	164	82%	141	69%	132	72%	148	96%	150	90%	143	92%	133	81%	168	113%
キャベツ	518	92%	511	93%	494	92%	519	101%	509	97%	456	94%	465	98%	407	96%
ほうれんそう	35	83%	41	91%	31	81%	39	146%	18	85%	16	82%	15	103%	12	114%
青ねぎ	42	91%	41	88%	42	91%	46	112%	37	82%	40	92%	19	45%	34	90%
白ねぎ	31	133%	32	128%	32	134%	38	184%	26	104%	33	131%	32	126%	16	77%
レタス	227	98%	223	93%	226	99%	195	94%	209	96%	204	100%	175	79%	176	88%
きゅうり	235	89%	204	85%	184	88%	171	117%	128	91%	173	105%	166	93%	88	58%
なす	87	83%	110	97%	109	88%	146	124%	93	93%	95	101%	86	86%	51	54%
トマト(ミニトマトを除く)	181	213%	163	177%	122	76%	135	98%	121	104%	114	92%	175	121%	104	77%
ピーマン	49	70%	56	76%	69	115%	71	132%	76	139%	64	125%	55	107%	54	127%
ばれいしょ	349	121%	269	105%	204	108%	92	78%	131	129%	111	97%	159	104%	135	99%
さといも	3	69%	4	87%	3	72%	3	72%	4	85%	3	62%	3	62%	4	72%
たまねぎ	283	99%	259	94%	223	86%	264	111%	246	84%	218	83%	345	128%	325	129%

資料:「広島市中央卸売市場日報」
注 :平年比70%以下の数値に青色、及び130%以上の数値に赤色を付す。

〈お問合せ先〉園芸課／^{かん だ}神田:TEL.082-846-4708

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の卸売価格の推移

単位：円/kg

品 目	6月上旬		6月中旬		6月下旬		7月上旬		7月中旬		7月下旬		8月上旬		8月中旬	
	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比	卸売価格	平年比
だいこん	110	157%	109	115%	76	87%	94	119%	87	93%	87	93%	82	85%	89	73%
にんじん	103	103%	100	94%	87	76%	97	74%	125	69%	132	64%	114	78%	134	116%
はくさい	102	131%	82	103%	67	83%	64	90%	70	94%	72	73%	73	63%	81	68%
キャベツ	113	133%	96	104%	93	102%	81	112%	68	97%	78	81%	69	67%	84	69%
ほうれんそう	587	127%	459	90%	494	91%	455	74%	718	94%	869	118%	537	65%	783	71%
青ねぎ	562	127%	536	114%	501	110%	491	105%	514	90%	570	90%	549	79%	590	82%
白ねぎ	449	99%	379	88%	346	86%	315	76%	368	81%	360	94%	291	81%	400	92%
レタス	238	163%	145	116%	93	78%	118	99%	148	101%	184	94%	128	68%	155	80%
きゅうり	283	137%	223	107%	191	89%	133	54%	207	56%	186	64%	137	52%	459	141%
なす	396	115%	358	104%	314	102%	254	90%	237	76%	240	71%	247	78%	331	114%
トマト(ミニトマトを除く)	265	104%	292	107%	291	100%	315	109%	238	82%	289	99%	187	67%	214	75%
ピーマン	518	162%	596	173%	417	107%	352	86%	279	67%	207	52%	209	54%	224	59%
ばれいしょ	211	122%	172	100%	142	79%	131	63%	106	46%	107	52%	106	60%	152	101%
さといも	520	100%	471	90%	439	81%	451	91%	375	82%	341	78%	459	103%	370	85%
たまねぎ	121	112%	108	106%	119	111%	123	102%	128	102%	133	106%	111	86%	101	84%

資料：「広島市中央卸売市場日報」

注：平年比70%以下の数値に青色、及び130%以上の数値に赤色を付す。

月別の天候

【令和3年8月25日】気象庁発表「向こう3か月の見通し」

9月	- 北・東日本と西日本日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 - 西日本太平洋側と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
10月	- 北・東日本と沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 - 西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
11月	- 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 - 北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 - 東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 - 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

出典：気象庁ホームページ

〈お問合せ先〉園芸課／^{かんた}神田：TEL.082-846-4708

TOPICS

トピックス

「3-R(さん・あーる)」ブランドの普及に向けた取り組み

●現在の「3-R」の全12商品をご紹介します。

野菜

循環野菜

畜産堆肥を使用した「資源循環型農業」で育った、環境への負荷を軽減した野菜です。



お米

循環米 せらにしあきさかり
循環米 おおあさこしひかり

地域でできた畜産堆肥を使って育てました。さらに、農薬や化学肥料を通常より2割以上抑えた環境保全米です。



お肉

マイ
お米ポーク出荷前の1か月に国産飼料米を10%以上添加したもちもちあっさり特徴の豚肉です。
(1頭あたり水田面積換算で22㎡相当の耕作放棄地の解消につながっています)

耕畜連携 広島和牛

広島県産の飼料米を混ぜたエサで育った和牛。



卵

耕畜連携 広島こめたまご

親鶏に広島県産飼料米を食べさせた卵。



加工食品

広島の
ハンバーグ

お米ポークとひろしま牛を使用した、肉汁あふれる贅沢なハンバーグ。



ひろしまライスバーガー

パンズの代わりに「おおあさこしひかり」を使ったバーガー。ひろしま牛の焼肉をはさんだ贅沢な一品です。

ひろしまお米アイス

「せらにしあきさかり」を使った新食感アイス。味は「濃いミルク」「きな粉ミルク」「いちごミルク」の3種類。



●世羅町の小国地区振興協議会主催「やさいづくりスキルアップ塾」の料理企画に「せらにしあきさかり」が使われました。



令和3年8月、小国自治センターで、「やさいづくりスキルアップ塾」の料理企画が催され、世羅高校の生徒が考案した「世羅ばたけタコライス」「世羅ふわとろオムカレー」に、3-R商品の「せらにしあきさかり」が使われました。

世羅町世羅西地区では、地域の資源を有効活用する農業が盛んに行われています。

3-RのHPはこちらから→

〈お問い合わせ〉改革推進課／^{はらだ}原田：TEL.082-846-4701

営農支援情報

①〈イベント告知〉令和3年度JAグループ担い手アグリサミット

●〈開催概要〉●

今後の農業を支える農業者等を対象に、営農に役立つ様々な最新情報や先進技術を表示・提供し、日頃の疑問や課題を解決する機会として、今年度は、下記日程・内容で開催します。

農家手取り最大化に向けた、最新のICT技術の展示、JAグループの強みである生産～販売まで生・販・購一貫した流れのある部門横断的な展示や、生産者が抱える課題解決につながるセミナーの開催、関連機器などを見て触って体験できる実演会を予定しています。

(1)日 時：10月27日(水)・28日(木) 9:30～15:00

(2)場 所：JA西日本営農技術センター(東広島市河内町入野11631-13)

(3)実施内容：セミナー・実演会・展示会を中心に展開



▲ラジコン草刈り機実演会 参加者が熱心に見学している様子



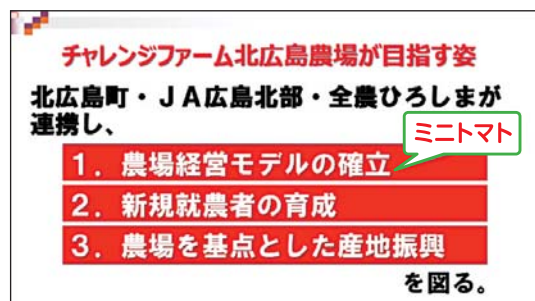
▲肥料・農薬の展示会 担当者が疑問にお答えします

②全農チャレンジファーム広島・北広島農場の開設

全農ひろしまが運営する実践型研修農場「全農チャレンジファーム広島・北広島農場」が、7月9日、北広島町石井谷に開設しました。新規就農者の早期の経営安定につなげる事が狙いで、研修生はミニトマトを中心に2年間の実践型研修を行い、栽培技術や農業経営の基礎を学びます。この農場は、北広島町の「新規就農総合対策事業」と連携し取り組み、地域の先進的な農業者が研修生にノウハウを直接指導し、北広島町での就農を支援することが特徴です。

将来、同農場の研修生が北広島町に就農することで、産地の生産振興や地域の活性化を目指します。

農業を仕事にしたいと思われている方、また周りに農業へ興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ、営農支援課までお問い合わせください。



▲圃場面積 4,338㎡、ビニールハウス 2,550㎡(7棟)

③JA全農ひろしま営農公式LINEの開設

これまでの紙媒体による営農情報の提供とあわせて、よりタイムリーに皆様へ情報提供する手段として、【JA全農ひろしま営農公式LINE】を開設しました。

●〈開催概要〉●

米穀 園芸 営農資材 営農支援技術等 農業機械 生活・燃料 畜産他



肥料・農薬、栽培管理、病害虫、農業ICT、研修農場、農業機械、畜産・鶏卵、イベント

皆様へ有益な情報をいち早くお届けします!

●〈友だち登録方法〉●

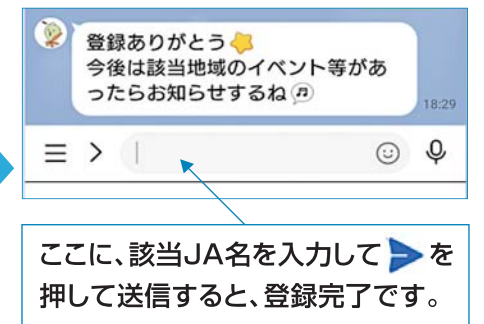
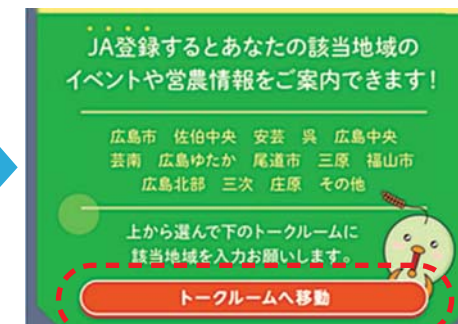
ステップ① 下記QRコード読み取り又はID検索により登録してください。

ステップ② 登録お礼メッセージを受け取った後、該当地域登録で、ご自身の管内のJA名をメッセージ欄に入力して送信してください。

QRコード



ID:@290ueqvx



ここに、該当JA名を入力して ➡ を押して送信すると、登録完了です。

※下記JA管内の方は、既に開設されているJAの営農LINEをご登録ください。(重複登録も可能)

JA 安芸



JA 広島中央



JA 三原



JA 福山市



友だち登録をよろしくお願いします!!



〈お問合せ先〉営農支援課／平岡:TEL.082-846-4706

肥料・農薬情報

水稻の収量・品質向上対策!稲刈後の対策

(1)稲刈後の対策について

水稻の収量・品質向上に向けて、①**土づくり肥料の散布**、②**稲わらの腐熟促進**、③**雑草対策**等、稲刈後の秋から行う対策があります。今回は稲刈後にできるこれらの対策についてご紹介しますので、次年産の収量・品質向上に向けた検討をお願いします。

(2)土づくり

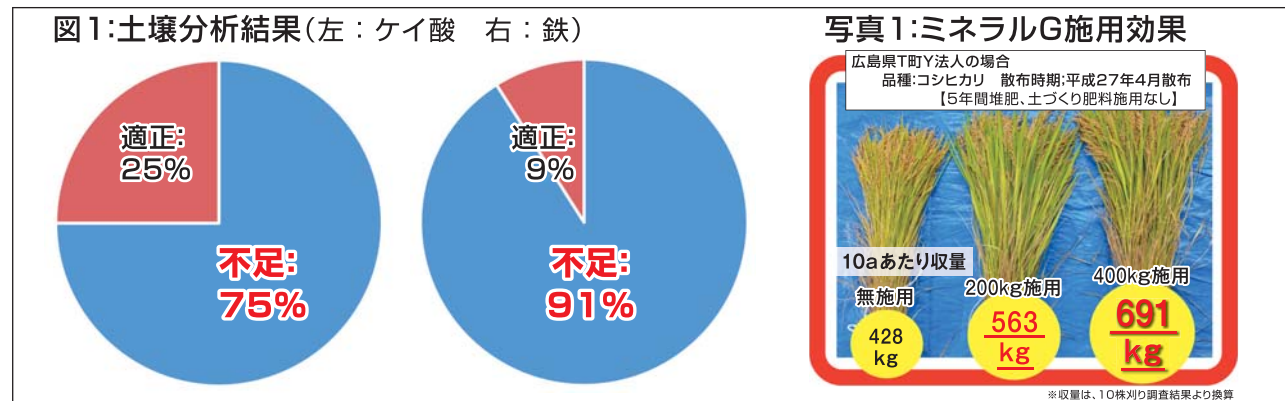
水稻栽培においては「ケイ酸」「鉄」の成分が非常に重要で、収量や品質に与える影響が大きい成分として知られています。特に「ケイ酸」は水稻が求める割合が高く、1作栽培すると100～120kg/10a程度吸収され、**数年間補給しない状態が続くと収量への影響も現れます。**

本会の土壌分析結果(年間約10,000点分析)で、数年間の傾向を見てみると、**不足傾向の圃場が多いことが確認されています。**

収量と品質向上のため、土づくり肥料施用の試験を県内多くのJAで実施しましたが、ほとんどの圃場で「収量が増えた」「米の質が良くなった」とコメントをいただきました。

収量を増やしたい方は、**ミネラルG 200kg/10a散布をおすすめします。**

フレコン(200kg/袋)規格もあります。



(3)稲わら腐熟促進

稲わらにはケイ酸分が多く含まれているため、**秋から春にかけてしっかり腐熟させると翌年の稲作へ役立ちます。**しかし、不十分な場合、田植後の「ガス湧」の原因につながり、ガス障害などにより根が傷み生育や収量に影響してきます。

従来の腐熟促進対策資材は「微生物」を活用するものが多く、「施用(散布)時期」が限られる場合が多くありましたが、**近年登場した「アグリ革命」は酵素を主成分としているため秋から春まで使用することができ、また、稲わらの分解能力も高いことが確認されています。**

「アグリ革命」は細粒【2kg袋・10a分】と、アクア(液体)【100mlボトル・10a分/500mlボトル・50a分】があります。

- アグリ革命アクア(液体)は、10aあたり100mlを散布方法に応じて水で希釈し(10～500ℓ)、散布します。
- **細粒・アクアともに無人航空機(ドローン)による処理が可能!**
- より効果を高めるためには、稲刈後にできるだけ早く処理するのがおススメ。(春散布も可能です)
- 稲わらが濡れているときに処理する。



(4)雑草対策

水田の雑草対策は、田植前後に除草剤を散布することが基本となりますが、増えすぎた雑草対策には、秋から春の対策も必要となります。特に「ノビエ」や「クログワイ」などの雑草は、一度増えると根絶するまでに時間を要するため早期の対策が必要です。

①クログワイ対策

おすすめ品目	ラウンドアップマックスロード
10aあたり使用量	薬量:1L 希釈水量:50～100L(ラウンドノズルULV5使用の場合5L)
使い方	・稲刈後クログワイが再生(草丈20cmが目安)してきたところに散布し、塊茎を減らすことにより、来策の発生が減少。



②ノビエ対策

おすすめ品目	ブリグロックSL
10aあたり使用量	薬量:1L 希釈水量:100～150L
使い方	・薬剤が直接ノビエの種子に付着する用散布。種子の発芽を抑制し、来策のノビエが減少する。 ・稲刈後から耕起前までに散布する。



おすすめ品目	石灰窒素
10aあたり使用量	40～50kg
使い方	・収穫後、一週間以内に全面散布。ノビエの休眠を覚醒させ、秋に発芽させて冬の低温で枯死させることで種子の密度が低下。 ・平均気温18℃以上の日が15日程度続くことが必要。 ・土壌に水分がある状態の方が高い効果が期待できる。



(5)省力散布方法

①混用散布が可能

紹介した資材は混用して散布できるものもあります。

◎「アグリ革命アクア」+「ミネラルG(粉)」

※散布3日前にミネラルG(粉) 200kgフレコンにアグリ革命100mlを加えます。(フレコンを空けて真ん中に窪みを作り、アグリ革命アクアを1.5ℓの水で薄め流し込む。その後口を封じる)

◎「アグリ革命アクア」+「ラウンドアップマックスロード」

◎「アグリ革命アクア」+「ブリグロックSL」

※アグリ革命アクアと上記除草剤は混用しても効果に影響ないことを確認しています。

②ラウンドノズルULV5ブームスプレーヤ用が新登場

ラウンドアップを少量の希釈で省力散布できるULV5ノズルシリーズにブームスプレーヤ用が、新登場しました。10aあたり5Lと小水量での散布ができ、作業の効率化が可能です。

**ラウンドアップ50ℓを
水量500ℓで10ha散布!**

ラウンドアップ
マックスロード
50ℓ + 希釈水量
500ℓ = 散布面積
10ha

高濃度 少水量 専用ノズル

※希釈する水量を減らしますが、ラウンドアップの薬量を減らせる訳ではありません。
※作物名・適用場所により異なります。薬量200～1,000mℓ/10a
※散布時の走行速度で水量は変わります。

NEW!
ラウンドアップ 専用ノズル
ラウンドノズルULV5
ブームスプレーヤ用

・ブームスプレーヤで除草作業する場合(例) ※通常散布100ℓ/10aに対し、ULV5による少量散布5ℓ/10aとの比較

希釈水量500ℓ (給水時間約10分/回で試算)	他剤による通常散布 (希釈水量100ℓ/10a)	ラウンドアップによるULV5 (希釈水量5ℓ/10a)
散布面積/500ℓ	0.5ha	10ha
給水回数/10ha	20回	1回
給水時間/10ha	約3時間	約10分

※ご紹介した品目やラウンドノズルULV5の詳細は、チラシを同封していますのでぜひご覧ください。

〈お問合せ先〉肥料農薬課／豊田:TEL.082-846-4705

農業機械情報

① 共同購入トラクタ(中型)の購入生産者インタビュー ～第2段～

令和2年12月から販売を開始した共同購入トラクタ(中型)。

購入いただいた生産者を訪問し、この取り組みを改めて説明すると同時に、使い勝手などをお聞きする取り組みをすすめています。

今回はJA広島北部たかた農機センターを通じて購入された、山岡治さんをご紹介します。

【共同購入トラクタを知ったきっかけ、購入動機】

30年間使用したトラクタを更新しようと思った時期にJA担当者から紹介を受けた。3月5日～6日のJA広島北部の農機展示会で実機を見て触れることができ、低コストで機能も優れていることから購入を決めた。

【購入の満足度】

付属品作業機(ロータリー・ロータリーハロー)をセットで購入。ワンタッチの脱着に満足しており、ロータリーハローを活用することにより、苗床を平坦にできることに期待。

【共同購入トラクタの主な使用目的、使用頻度】

畜産と水田の複合経営農家であるため、肉牛で生産される堆肥を水田に散布する。

飼料米も生産しており、主に耕うん作業・稲わら収穫作業・堆肥散布作業に活用する予定。

【その他(ご意見・要望)】

水田の規模拡大を検討しているが、鳥獣害対策を地域全体で取り組む必要がある。



左: 購入いただいた山岡さん 右: JA広島北部たかたMC 河重係長



ロータリーハロー(折込式)を装着

共同購入トラクタ(中型)の受付は令和5年3月(予定)までとなります。

ご興味がある方は、最寄りのJA農機センター・株式会社全農アグリサポート広島までお問合せください。

● JAグループ共同購入トラクタとは ●

共同購入トラクタの取り組みは、生産資材コスト低減に向けたJAグループ自己改革の一環です。全国1万人以上の生産者の声を反映し、機能を選りすぐり、全国でまとめて注文することでメーカーの製造、流通を効率化し、製造コストを削減しています。

② 見直そう! 農業機械作業の安全対策

2021年秋の農作業安全確認運動が、9月1日～10月31日(2ヶ月間)で実施されます。

近年、農業就業人口当たりの農作業事故死亡者数は増加傾向にあり、そのうち機械の転落・転倒(ほ場内、道路)による事故が多くを占めているとの報告がありました。〔「今後の農作業安全対策について」(農林水産省)〕 農作業死亡事故に占める機械の転落・転倒事故の割合が高くなっている中で、その対策として、トラクタへの安全フレームとシートベルトの装着が必要となります。

見直そう! 農業機械作業の 安全対策

農作業死亡事故の中で最多

乗用型トラクターの転落・転倒対策をしましょう

ヘルメット
着用

シートベルト
着用

安全フレーム付き
トラクター使用

デザイン/2021年農作業安全ポスターデザインコンテスト 農林水産大臣賞 東京都 田村 貞夫

2021年 秋の農作業安全月間

JAグループ

イラストは、農林水産省の
許諾を得て使用しています。



〈お問合せ先〉 農業機械課 / くにひろ TEL.0824-62-3103